

## アメリカペンシルベニア大学 Beers ラボへの研究室配属

医学科4年次の研究室配属の一環として、アメリカのペンシルベニア大学に1名が平成29年8月28日から9月29日の約1ヶ月間短期留学しました。この留学は大分大学派遣留学支援制度（短期研修型）に採択・支援されたものです。

肺の疾患について研究する留学であり、平日の午前9時から午後5時まで研究室で実験を行いました。毎週火曜日には、研究進捗を共有するラボミーティングがあり、研究結果について活発な議論がなされました。研究室では「次に何の実験する？」と聞かれる環境下で、自主的に実験を進めることができました。またラボでは定期的に外部の先生が講義をしており、広く知識を吸収する機会もありました。帰国後の10月12日には大分大学内で研究発表を行い、研究及び留学の成果が共有されました。

ペンシルベニア大学の所在地であるフィラデルフィアはアメリカ東海岸にあり、留学時は気候が良く、過ごしやすい気温でした。またフィラデルフィアはメガロポリスを構成する一都市でもあり、美術館、博物館が多数あり各種スポーツ観戦も可能で休日は楽しめます。またペンシルベニア大学は歴史のある大学であり、規模も大きく各種設備が充実していました。研究生活、休日の観光ともに非常に充実した留学となりました。



留学最終日の打ち上げにて  
(中央が研究室のボス、向かって右隣が本学学生)